

令和6年3月 労務単価改定

国土交通省及び農林水産省では、公共工事設計労務単価について、単価改定を行いました。改定単価は、令和6年3月から適用されます。

今回の改定により、公共工事設計労務単価は全国全職種単純平均で対前年度比5.9%引き上げられることとなります。

平成25年度の改訂から12年連続の引き上げとなり、全国全職種平均値が23,600円となりました。

詳細につきましては、下記【参考リンク】よりご確認ください。

【参考リンク】

国土交通省の報道発表資料

令和6年3月から適用する公共工事設計労務単価について

https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00204.html

令和6年3月から適用する鋼橋積算基準の直接労務単価（鋼橋製作工）について

https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001760.html

令和6年度 電気通信関係技術者等単価について

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001063.html

令和6年3月から適用する機械設備工事積算に係わる標準賃金について

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001062.html

令和6年度 設計業務委託等技術者単価について

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_001055.html